

ドライバーの皆さん、高齢歩行者に注意!

福岡県内の交通死亡事故の特徴

① 夜間、高齢の歩行者が犠牲となる事故が多い

過去5年間の交通事故犠牲者828人中、高齢の歩行者が262人と圧倒的に多く、高齢歩行者の事故の約6割が夜間の発生しています。

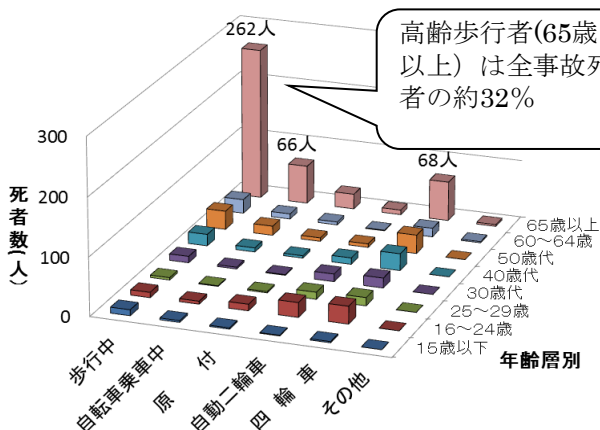


図 年齢層別・状態別死者数(H21~H25)

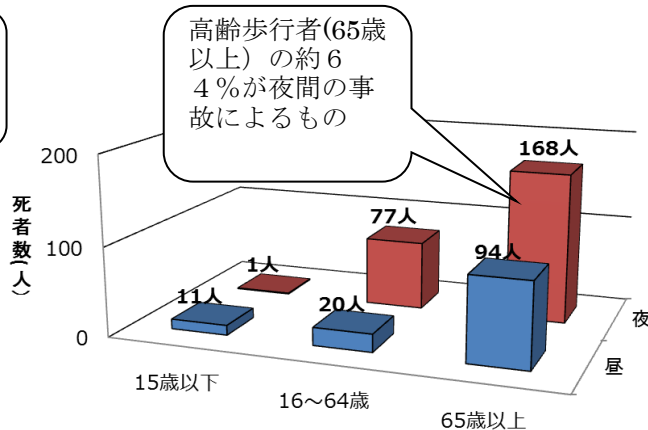


図 昼夜別歩行中死者数(H21~H25)

② 高齢歩行者の交通死亡事故は、日没後、日の出前に多発

歩行者が犠牲となった交通死亡事故を時間帯別に見ると、高齢歩行者の事故は、日没後と日の出前の時間帯に多く発生しています。

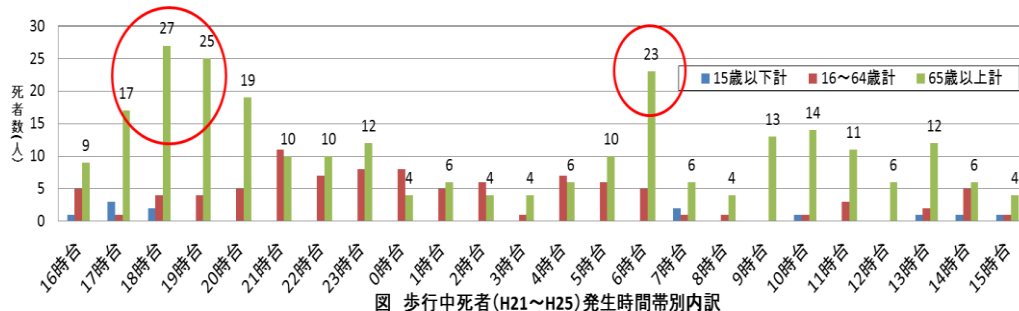


図 歩行中死者(H21~H25)発生時間帯別内訳

③ 4月後半は特に交通死亡事故への警戒が必要

昨年は4月25日から4月30日までの6日間で、9件(1日平均1.5件)もの交通死亡事故が発生しています。

車やバイクを運転するときは、交通事故に注意して歩行者、特に高齢歩行者に配慮した安全運転をお願いします。

交通事故を防止するために

1 運転前の体調管理！

- **疲れているとき、病気の時、心配ごとのあるとき**などは、注意力が散漫になったり、判断力が低下したりして、思いがけない交通事故を引き起こすことがあります。**運転を控えるか、体調を整えてから運転**するようにしましょう。
- 長時間にわたって運転するときは、2時間に1回は休息をとりましょう。



2 スピードは控えめに！

- 交通事故を防止するためには、周囲の状況に応じた安全な速度で走行することが大切です。**特に、曲がり角やカーブ**では、その手前の直線部分で十分にスピードを落としましょう。
- **特に夜間**は、歩行者が見えにくくなりますので、スピードを控えめにし、周囲の車や人に配慮した運転を心掛けましょう。



3 夜間はライトを活用！

- ライト（前照灯）は、前方を照らすだけでなく、周囲にこちらの存在を知らせるといった大切な役目があります。**早朝や薄暮時、視界の悪い雨の日**などは、ライトを点灯し、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。
- 夜間、郊外を走行するときは、歩行者や自転車を早く発見できるよう、**ハイビームを活用**しましょう。ただし、前方の車や対向車の視界を妨げないように、ロービームへの切り替えに注意してください。

